

はんなりトイレ（清水寺境内公衆トイレ）

TOTO

東棟 外観



TOTOは、市が推進するネーミングライツ事業に応募し、清水寺境内公衆トイレを、京都らしさを感じていただくよう「はんなりトイレ」と命名した。

東棟 外観



周辺景観に溶け込む外観。窓には、障子窓風パネルを設けた和の趣あるトイレ。

西棟 女性トイレ



窓から自然光が差し込む明るく開放的な空間。窓には、竹飾り格子の装飾。天井は既設勾配を生かし、京都産の化粧丸太を使った数寄屋風勾配天井仕上げて京都らしさを演出している。

西棟 男性トイレ



小便器は、子供から大人まで使いやすく、小便器足元の掃除がしやすい低リップタイプ。自己発電式壁掛小便器。上部ラインングは、荷物棚の手前の縁を立ち上げ、手荷物の落下を防ぐ仕様となっている。

東棟 トイレ全体・洗面コーナー



正面が女性トイレ、向かって右手が多機能トイレ、左手が洗面コーナーで、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用。天井全面に金色地に桜をあしらった華やかで雅な空間演出が施されている。

東棟 女性トイレ



便器の詰まりに備えて、掃除口付きのパブリックコンパクト便器を採用。訪日外国人観光客が多く訪れるため、京都市で作成した多国語表示の「トイレのつかいかた」を掲示。

図面



西棟 改修前



改修前の西棟トイレ。設備も老朽化し、大便器は和式便器、小便器は床置きを設置しており、器具と床の設置面が汚れやすい環境にあった。

東棟 多機能トイレ



多機能トイレは、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトの方などさまざまな使用者に対応できる設備を完備。障子窓を模した丸窓から、外光を取り入れている。

西棟 外観



男性トイレ・女性トイレを備える西棟トイレ。トイレのサインは、京都独特の唐紙を背景にあしらっている。

建築概要

名 称	はんなりトイレ（清水寺境内公衆トイレ）
所 在 地	京都府京都市東山区清水1丁目294
施 主	京都市
設 計	イワモトエンジニアリング株式会社
施 工	イワモトエンジニアリング株式会社
竣 工 年 月	（改修）2016年10月

水まわりの特長

<改修の経緯>
平安時代以来、清水の観音として多くの人々が参拝する清水寺。春の桜と新緑、秋の紅葉と四季折々の美しさ、特に断崖の上にせりだした懸崖造りの本堂（国宝）は清水の舞台として親しまれ、古都・京都を代表する寺院である。国際文化都市である京都市は、トイレを観光の一翼を担うホスピタリティの場と位置付け、特に利用が多い観光地の公衆トイレを整備・充実するために一斉改修を実施している。このたび、TOTOは、市が推進するネーミングライツ事業に応募、清水寺境内公衆トイレを古来よりの京言葉で華やかさと奥ゆかしさを意味する「はんなりトイレ」と命名した。

<トイレの特長>
今回改修した公衆トイレは、五条坂から分かれる茶わん坂を上った場所にある茶店「六花亭」に隣接し、茶店の客はもちろん、参拝者など多くの人が利用しやすい場所に位置する。周囲の景観に馴染み、京都らしい和の趣が感じられるデザインとなっている。多機能トイレを備えた東棟、男女別トイレを備えた西棟がある。大便器はすべて洋式を採用し、多機能トイレは、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなどさまざまな使用者に対応できる設備を完備。小便器は、子どもから大人まで使いやすく、足元の掃除がしやすい低リップタイプの自己発電式の壁掛式小便器を採用。